

最近の管内経済概況

(2025年10月の経済指標を中心として)

～ 一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直している ～

最近の動きをみると、

- 生産活動は、弱含み。
- 個人消費は、一部に足踏みがみられるものの、緩やかに改善している。
- 観光は、改善が続いている。
- 公共工事は、減少した。
- 住宅建設は、弱まっている。
- 民間設備投資は、増加している。
- 雇用動向は、弱含んでいる。
- 企業倒産は、件数、負債総額とも減少した。

全体として、管内経済は、一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直している。
なお、先行きについては、国際経済の動向等を十分注視する必要がある。

※下線部は、前月から判断を変更した部分。

2025年12月19日

照会先 : 経済産業省 北海道経済産業局
総務企画部 企画調査課

T E L : 011-709-2311 内線 2525

E-mail : bz1-hokkaido-kikakuchosa@meti.go.jp

管内経済概況判断の推移

(2025年12月現在)

発 表 月	2025年7月	8月	9月	10月	11月	12月	前月との判断比較
総 括 判 断	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	一部に弱い動きがみられるものの、 <u>緩やかに持ち直している</u> (↘)	一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直している	一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直している	
生 産 活 動	横ばい傾向	<u>持ち直しの兆しがみられる</u> (↗)	持ち直しの兆しがみられる	<u>弱含み</u> (↘)	弱含み	弱含み	
個 人 消 費	一部に足踏みがみられるものの、緩やかに改善している	一部に足踏みがみられるものの、緩やかに改善している	一部に足踏みがみられるものの、緩やかに改善している	一部に足踏みがみられるものの、緩やかに改善している	一部に足踏みがみられるものの、緩やかに改善している	一部に足踏みがみられるものの、緩やかに改善している	
観 光	改善が続いている	改善が続いている	改善が続いている	改善が続いている	改善が続いている	改善が続いている	
公 共 工 事	増加した	<u>減少した</u> (↘)	<u>増加した</u> (↗)	<u>減少した</u> (↘)	<u>増加した</u> (↗)	<u>減少した</u> (↘)	
住 宅 建 設	<u>弱まっている</u> (↘)	弱まっている	弱まっている	弱まっている	弱まっている	弱まっている	
民 間 設 備 投 資	<u>増加している</u> (↗)	増加している	増加している	増加している	増加している	増加している	
雇 用 動 向	弱含んでいる	弱含んでいる	弱含んでいる	弱含んでいる	弱含んでいる	弱含んでいる	
企 業 倒 産	件数、負債総額とも減少した	件数は減少、負債総額は増加した	件数、負債総額とも減少した	件数、負債総額とも増加した	件数は増加、負債総額は減少した	件数、負債総額とも減少した	

※下線部は、前月から判断を変更した部分。

上方修正 据え置き 下方修正

生産活動 ～ 弱含み ～

10月の鉱工業生産は、前月比▲0.8%と4か月連続で低下した。前年同月比は▲3.5%と2か月ぶりに低下した。低下業種は、鉄鋼・非鉄金属工業など5業種となった。上昇業種は、金属製品工業など8業種となった。

<10月>

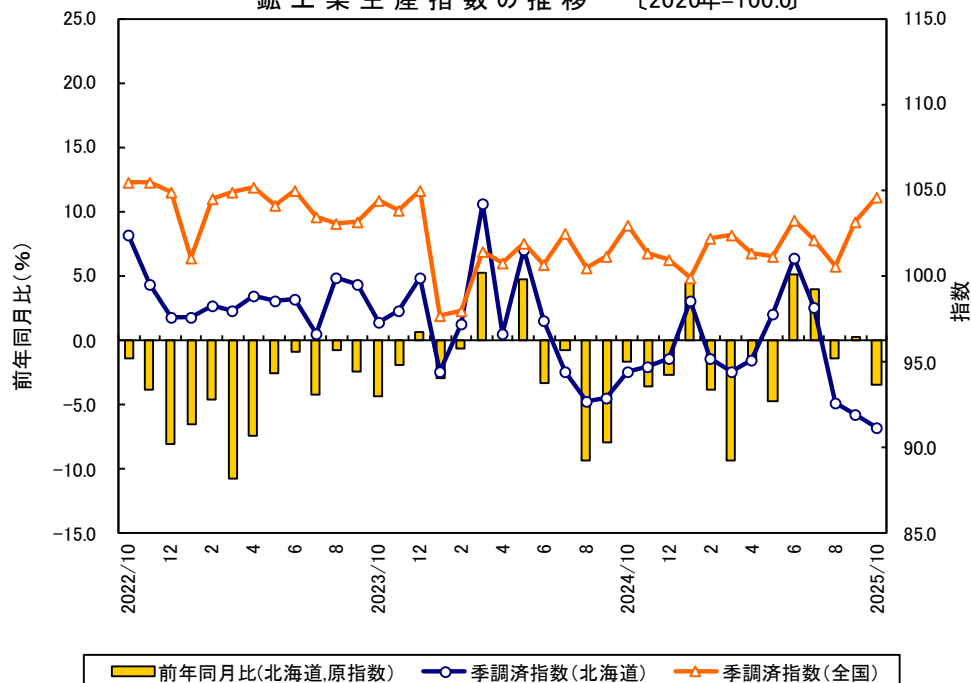
季節調整済指数

北海道（速報） 91.2（前月比▲ 0.8%）

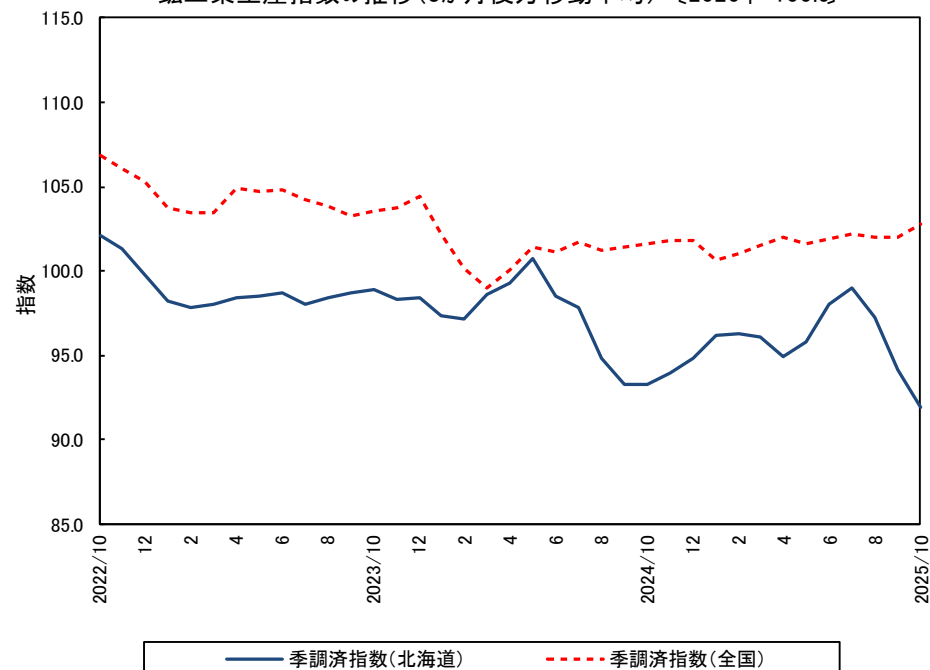
全 国（速報） 104.6（前月比+ 1.4%）

	業 種	前月比 (%)	前年同 月比(%)	主な品目
低下 5業種	鉄鋼・非鉄金属工業	▲ 24.8	▲ 45.9	鋼材
	一般機械工業	▲ 16.1	▲ 22.7	一般機械
	電気機械工業	▲ 3.7	▲ 0.6	電気機械
上昇 8業種	金属製品工業	+ 8.8	▲ 23.1	建設用金属製品

鉱工業生産指数の推移 [2020年=100.0]



鉱工業生産指数の推移(3か月後方移動平均) [2020年=100.0]



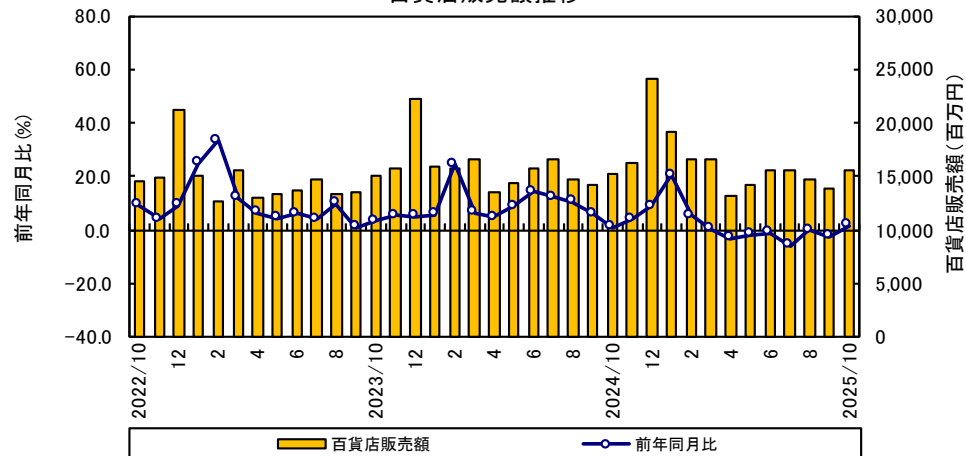
(資料：経済産業省、北海道経済産業局)

個人消費 ～ 一部に足踏みがみられるものの、緩やかに改善している ～

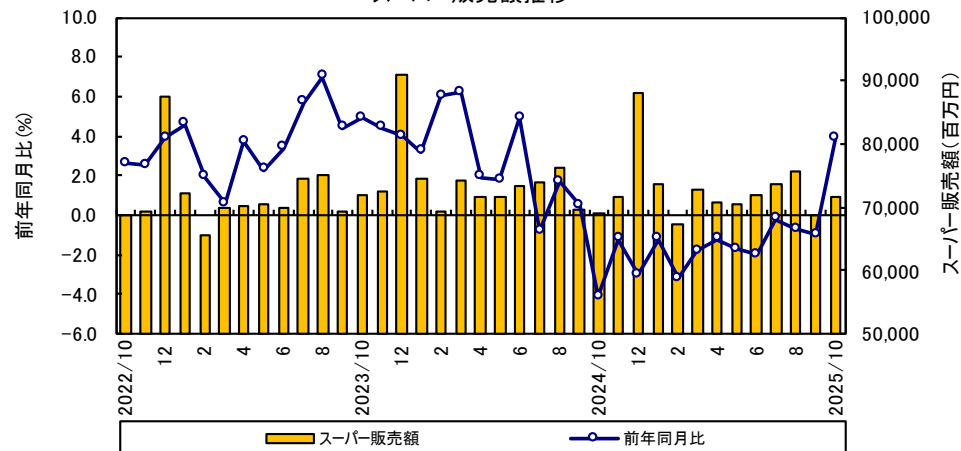
10月の個人消費は、全ての業態が前年を上回った。

- ・百貨店は、国内富裕層による資産性の高い商品が好調だったことから、前年同月比+1.7%と7か月ぶりに前年を上回った。
- ・スーパーは、秋冬物の衣料品が好調だったことから、同+3.9%と13か月ぶりに前年を上回った。
- ・コンビニエンスストアは、同+1.8%と13か月連続で前年を上回った。

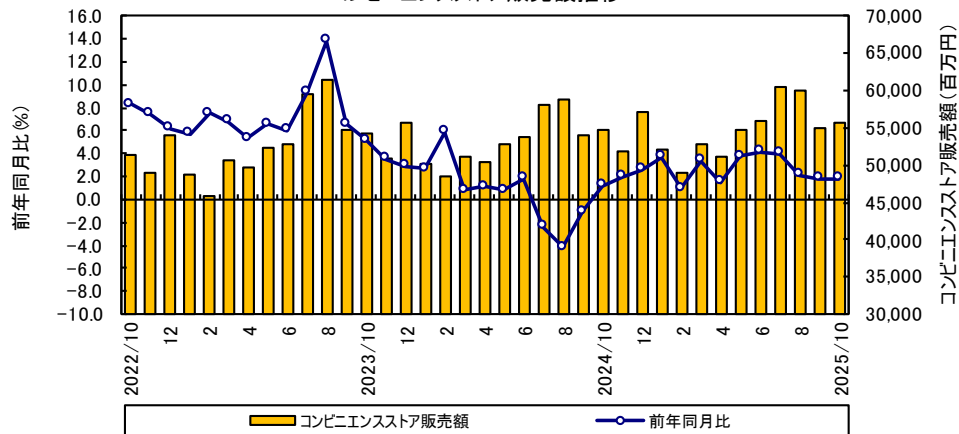
百貨店販売額推移



スーパー販売額推移



コンビニエンスストア販売額推移

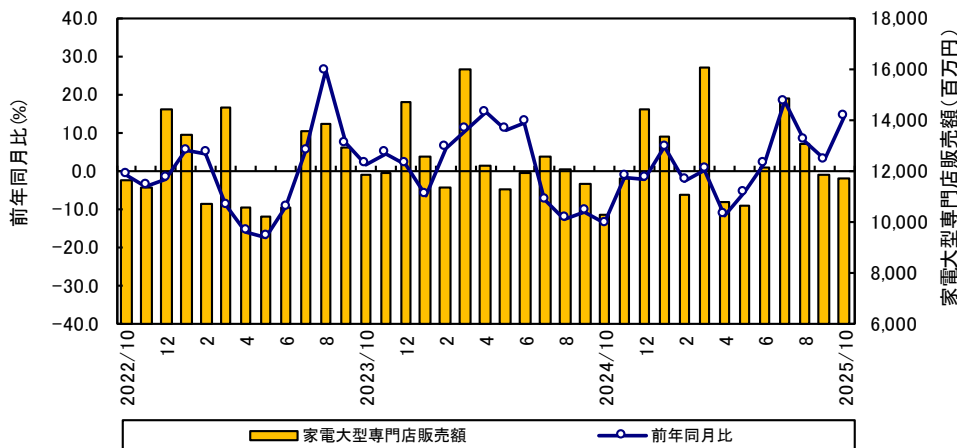


【ヒアリング内容】

- ・国内富裕層による高級ブランドの時計など資産性の高い商品が好調だった。また、円安傾向によりインバウンド客による高級ブランドの商品の売上げに回復傾向がみられた。(百貨店)
- ・月後半の気温の低下に伴い秋冬物の衣料品が好調だった。また、新米が好調だったことから米の売上げが前年を上回った。(スーパー)
- ・値上げにより客単価が上昇したことから全体の売上げは前年を上回った。一方で、節約志向により買上点数は引き続き前年を下回った。(コンビニエンスストア)

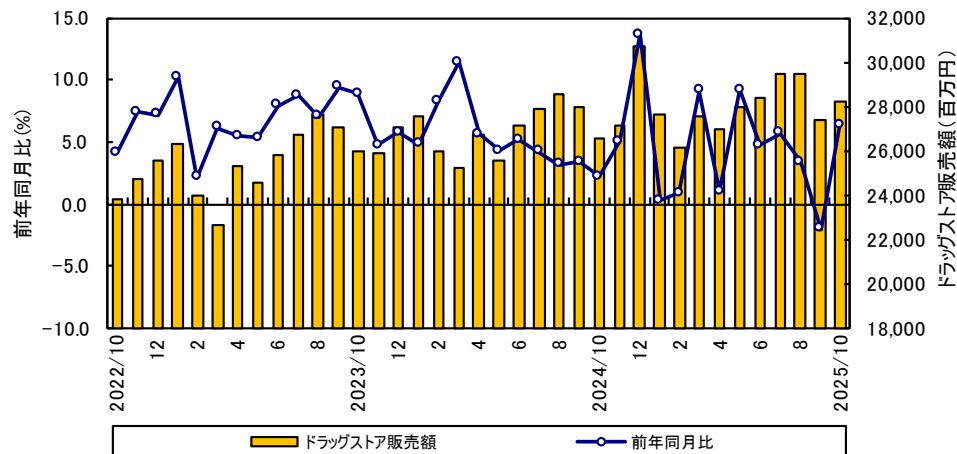
- ・家電大型専門店は、同+14.4%と5か月連続で前年を上回った。ドラッグストアは、同+6.3%と2か月ぶりに前年を上回った。ホームセンターは、同+2.0%と3か月ぶりに前年を上回った。
- ・新車販売は、同+0.0%と2か月連続で前年を上回った。

家電大型専門店販売額推移



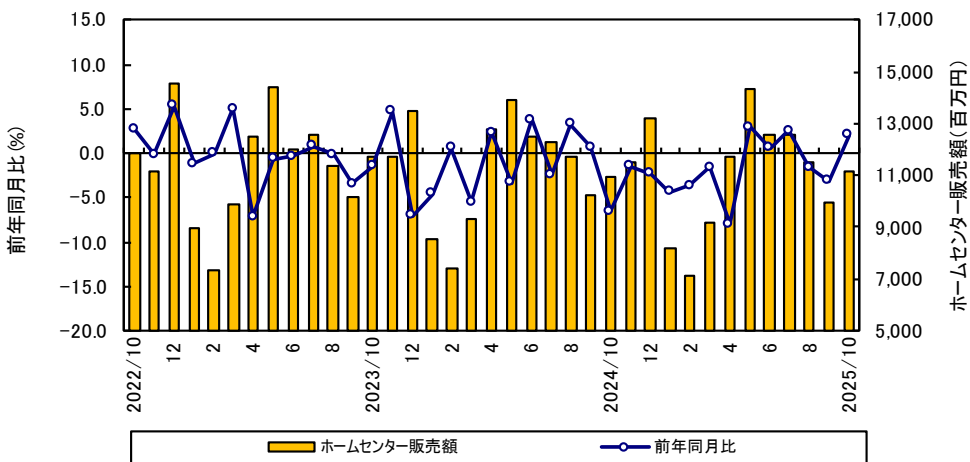
(資料：北海道経済産業局)

ドラッグストア販売額推移



(資料：北海道経済産業局)

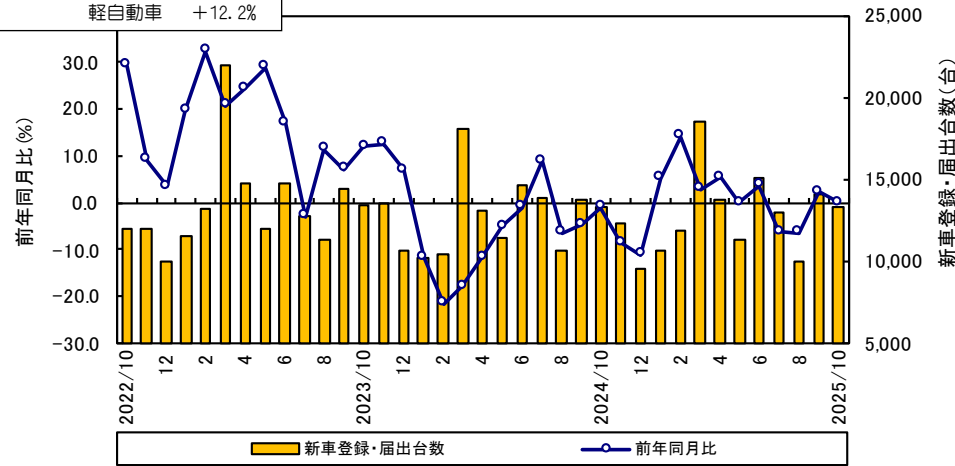
ホームセンター販売額推移



(資料：北海道経済産業局)

<10月> 普通乗用車 ▲ 3.8%
小型乗用車 ▲ 8.2%
軽自動車 +12.2%

新車登録・届出台数推移



(資料：(一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車協会連合会)

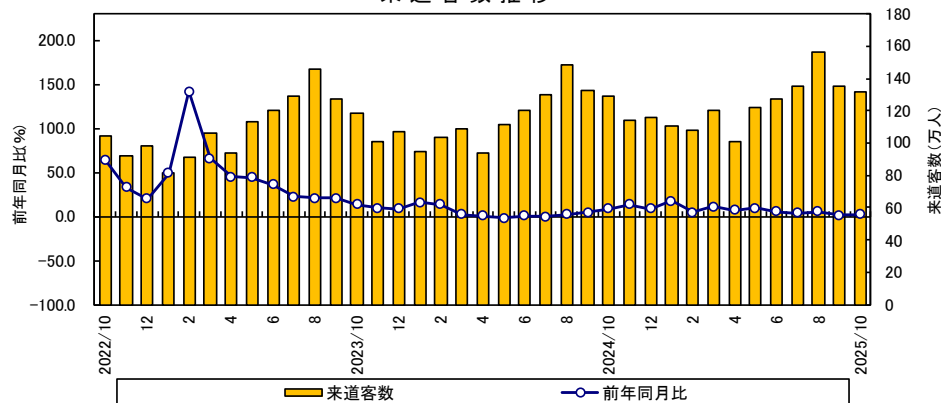
【ヒアリング内容】

- ・既存OSのサポート終了に伴う駆け込み需要があり、パソコンの売上げが前年を上回った。また、月後半の気温の低下に伴い暖房用品の売上げが前年を上回った。(家電大型専門店)
- ・中国の大型連休の影響によりインバウンド客の売上げが前年を上回った。一方で、国内客においては引き続き来店頻度を減らして特売時にまとめ買いをする傾向がみられたほか、飲食料品の売上げは前年を上回ったものの伸び率が鈍化する傾向がみられた。(ドラッグストア)
- ・月後半の気温の低下に伴い暖房用品や防寒衣料の売上げが前年を上回った。(ホームセンター)

観光 ～ 改善が続いている ～

10月の来道客数は、前年同月比+2.0%と17か月連続で前年を上回った。また、道内外国人入国者数は、同+29.6%と40か月連続で前年を上回った。

来道客数推移

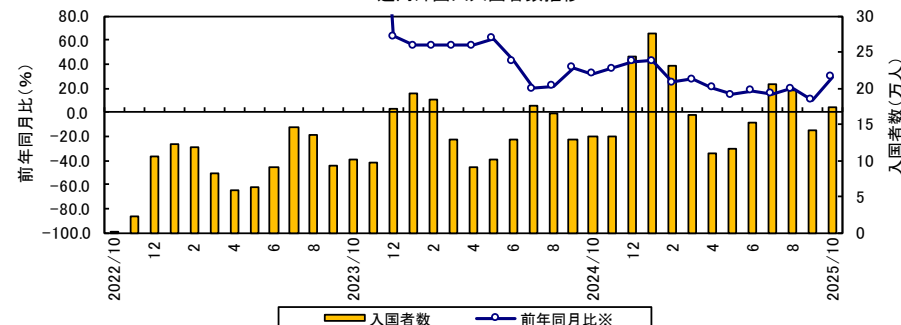


<10月> 来道客数 1,319,648人 (+2.0%)
 ※北海道外から航空機(国内線)、JR(北海道新幹線)、フェリーを利用して来道した旅客数。
 ※道内で入国手続きを行った外国人数は含まない。

(資料：(公社)北海道観光機構)

<10月> 入国者数 173,998人 (+29.6%)

道内外国人入国者数推移



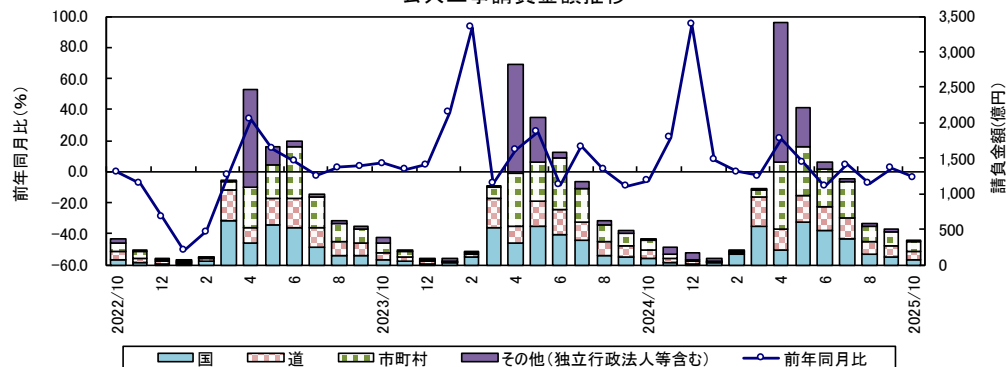
(資料：法務省) ※2023/4及び7～11の前年同月比は著しく増加したため、便宜上表示していない。

・10月の宿泊数は前年とほぼ同程度だった。紅葉の問い合わせもあり例年と同様の動きとなっている。(観光協会)

公共工事 ～ 減少した ～

10月の公共工事請負金額は、市町村、その他は前年を上回ったが、国、道は前年を下回り、前年同月比▲3.7%と2か月ぶりに前年を下回った。

公共工事請負金額推移



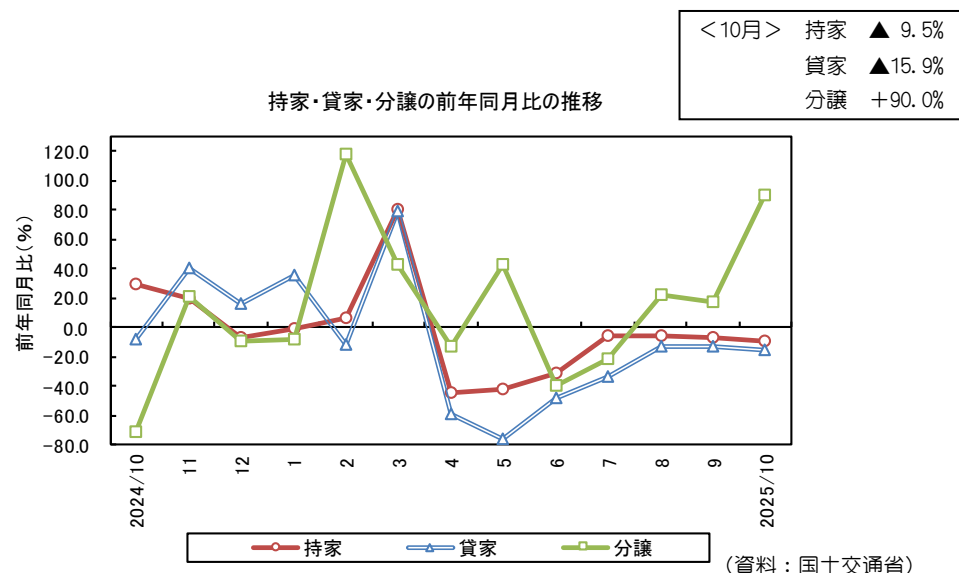
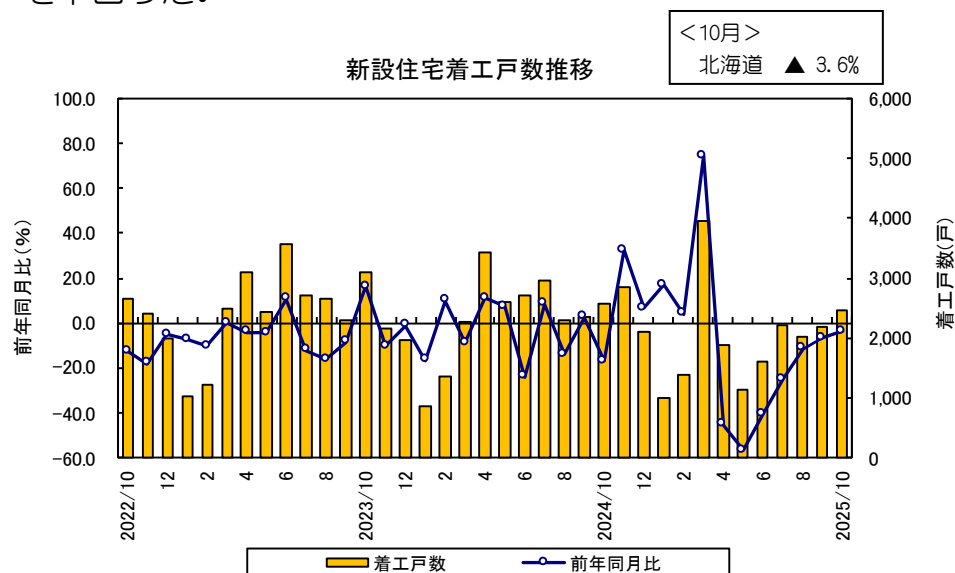
<10月>
 北海道 ▲ 3.7%
 (内 訳)
 国 ▲ 7.9% 道 ▲ 15.1% 市町村 + 6.2% その他 + 24.4%

※請負金額は国、道、市町村、独立行政法人等の合計額

(資料：北海道建設業信用保証(株)ほか2社)

住宅建設 ～ 弱まっている ～

10月の新設住宅着工戸数は、分譲は前年を上回ったが、持家、貸家は前年を下回り、前年同月比▲3.6%と7か月連続で前年を下回った。



民間設備投資 ～ 増加している ～

2025年度の設備投資計画は、全体で前年度比+11.0%と4年連続で前年度を上回った。

日銀短観の設備投資動向

2025年10月1日発表

	2024年度	2025年度
北海道	+ 6.5%	+ 11.0%
製造業	+ 10.0%	+ 22.0%
非製造業	+ 4.9%	+ 5.7%
全国	+ 7.5%	+ 8.4%

※土地投資額を含み、ソフトウェア投資額、研究開発投資額を除く。

※北海道は、電気・ガスを除くベース。

(資料：日本銀行札幌支店)

法人企業景気予測調査(北海道・設備投資)

2025年9月11日発表

	2024年度	2025年度
全産業	+ 16.5%	▲ 2.7%
製造業	+ 19.6%	+ 16.3%
非製造業	+ 15.2%	▲ 7.7%

※数値は対前年比増減率。

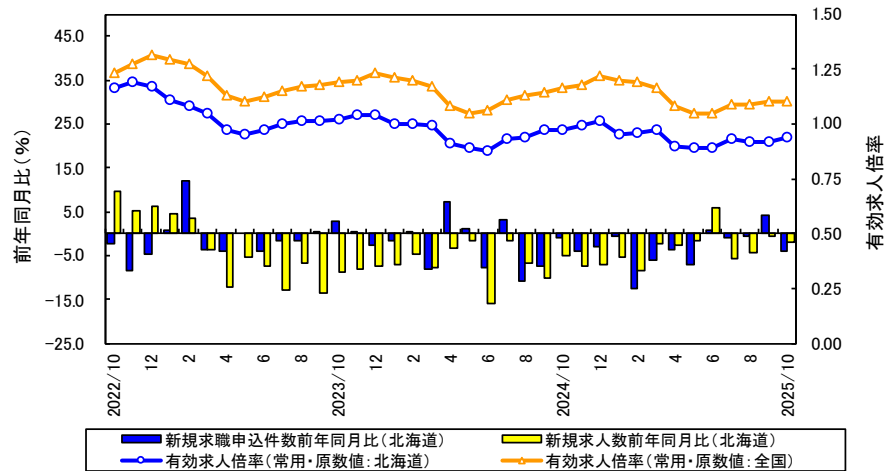
※ソフトウェア投資額を含み、土地購入額を除く。

(資料：北海道財務局)

雇用動向 ～ 弱含んでいる ～

10月の有効求人倍率は、0.94倍と前年同月差0.03ポイント低下し、3か月連続で前年を下回った。

有効求人倍率・新規求職・新規求人件数の推移



<10月>

北海道

有効求人倍率(常用・原数値) 0.94倍

新規求人数(前年同月比) ▲2.0%

新規求職申込件数(前年同月比) ▲4.1%

全 国

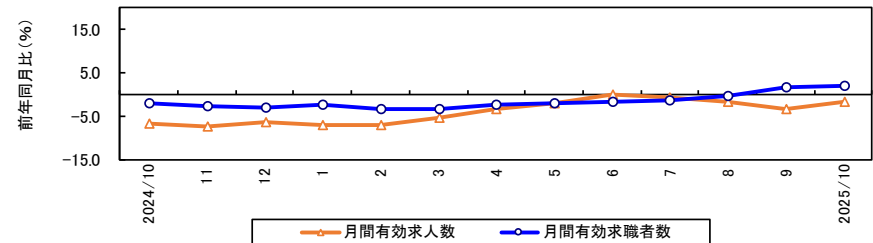
有効求人倍率(常用・原数値) 1.10倍

<10月>

月間有効求人数(前年同月比) ▲1.8%

月間有効求職者数(前年同月比) +2.0%

月間有効求人数・月間有効求職者数の推移

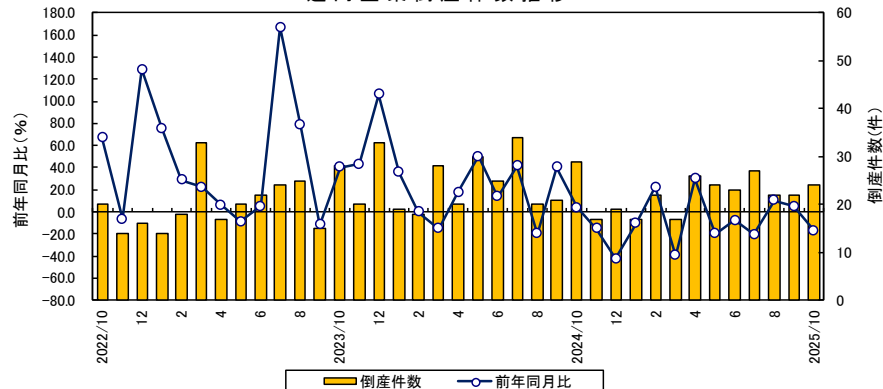


(資料：厚生労働省、北海道労働局)

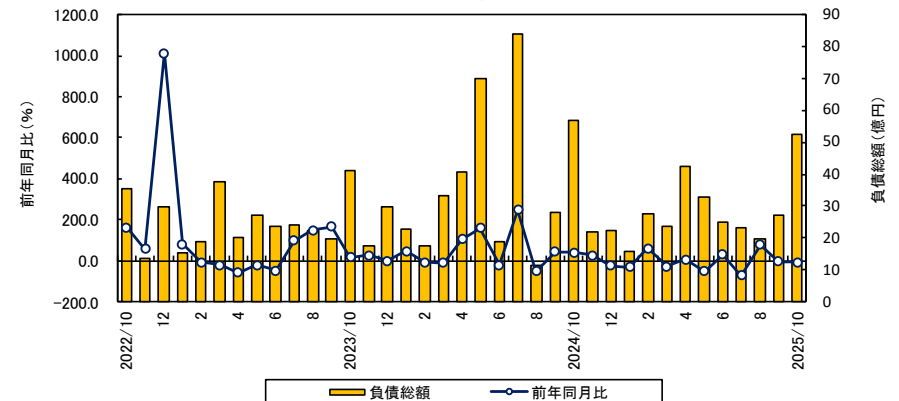
企業倒産 ～ 件数、負債総額とも減少した ～

10月の倒産件数は24件で、前年同月比▲17.2%（5件減）と3か月ぶりに前年を下回った。また、負債総額は52.7億円で、同▲7.6%と2か月連続で前年を下回った。

道内企業倒産件数推移



道内企業倒産負債総額推移



(資料：(株)東京商工リサーチ)